「５類以下で終わる意味」

先月、岸田総理が記者の前で初めて新型コロナの分類を「５類以下に引き下げる」ことについて言明しました。現在、新型コロナは新型インフルエンザ等感染症という分類になっており、実質ペストやエボラ出血熱などの致死率 40～50%の病気と同等の１類相当として扱われています。先進国で日本ほど厳しい規制をしている国は存在しません。特にオミクロン株に変異してからの致死率は 0.01%以下となり、季節性インフルエンザより低いため５類以下に引き下げることが妥当だと言われています。それでこの騒動はすべて終わりです。まず、無症状の人が検査を受ける必要がなくなります。PCR では検体にコロナの遺伝子が存在するか調べられますが、それが死んでいても、１個でも陽性になります。死んだウイルスでは感染しませんし、ウイルス１個でも感染しません。つまり PCR 陽性=感染ではないということです。無症状陽性者の多くは実際に感染などしていない偽陽性者です。WHO も日本の運用では偽陽性が多発すると指摘しており、その偽陽性者が強制隔離され、周囲は濃厚接触者となり、病院は病気でも何でもない健康な偽陽性者や咳が出る程度の軽い風邪患者で病床が逼迫しています。これらはすべて１類相当の扱いをしているため引き起こされていることです。５類以下になれば上記のことはすべて解決し、偽陽性者が増え医療が逼迫することも無くなります。５類のインフルエンザは毎年冬の時期だけで１千万人もの発症者と１万人以上の死者がいましたが、医療逼迫など起きませんでした。これが事実です。

私は２年前に１類相当の扱いをすると政府が決めた時から一貫して５類以下にするべきだと主張してきました。しかし、テレビに出てくる自称専門家らは「コロナを軽視するな！」「医療費が自己負担になる！」などと分類引き下げにこの期に及んでも抵抗しています。２年前の６月 18 日に厚労省から全国の各保健所に PCR 陽性者が亡くなった場合、厳密な死因を問わずコロナ死と公表するよう通達を出しています。それにより癌でも脳卒中でも交通事故でも死後の検査で陽性が出ればすべてコロナ死とされています。実際のコロナ死者は 10 分の１以下とも試算されています。死者を 10 倍水増ししても致死率はインフル以下。明らかに弱毒です。医療費に関しては病気でもないのに仕事を休ませられる方が経済的にマイナスになりますので論外。そもそも医療費が無料などと言っていますが、あれは我々が支払っている税金です。無料ではない。彼らは騒動が終息したら仕事がなくなり収入が減ります。だから騒ぐ。まやかしの言葉に騙されず、本質を見極めましょう。５類以下になればすべて終わります。事実を事実として受け止めて下さいね。

感染症法に基づく分類		消毒	就業制限	入院勧告	無症状患者への適用	交通の制限
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	○	○	○	○	○
1類	エボラ出血熱、ペスト	○	○	○	○	○
2類	結核、SARS	○	○	○	×	×
3類	コレラ、腸チフス	○	○	×	×	×
4類	黄熱、狂犬病	○	×	×	×	×
5類	季節性インフルエンザ、はしか	×	×	×	×	×

結核や SARS、コレラ、狂犬病より恐ろしい病気が蔓延していると本気で思いますか？正気に戻りましょう！